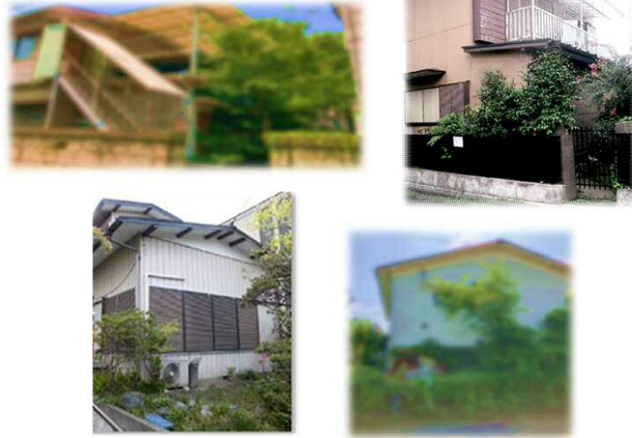


空家について



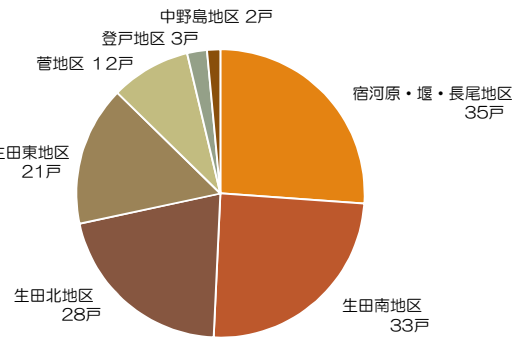
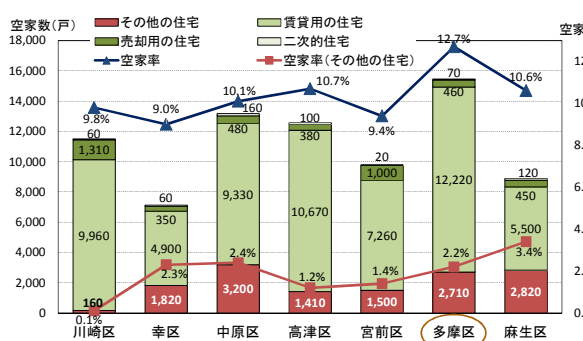
多摩区における空家の状況

● 空き家数 (H25 住宅・土地統計調査)

区別の空き家数 (共同住宅の空き室なども含む) は多摩区が最も多く (15,450戸)、空き家率も最も高く (12.7%) になっている。

● 多摩区内の空き家把握戸数 (R元年6月現在)

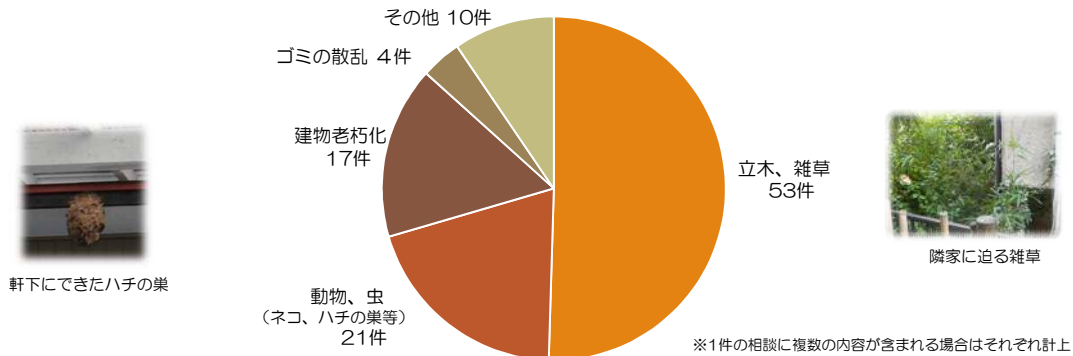
区に寄せられた空き家起因する相談、消防署による巡回などにより把握している空き家は134戸であり、丘陵地帯を含むエリアに比較的多く存在している。



空家に起因するトラブルの発生など

● 地域の困りごと相談の状況

区役所の地域の困りごと相談窓口には、「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行された平成27年以降、年平均20件の相談が空家の近隣住民から寄せられている。



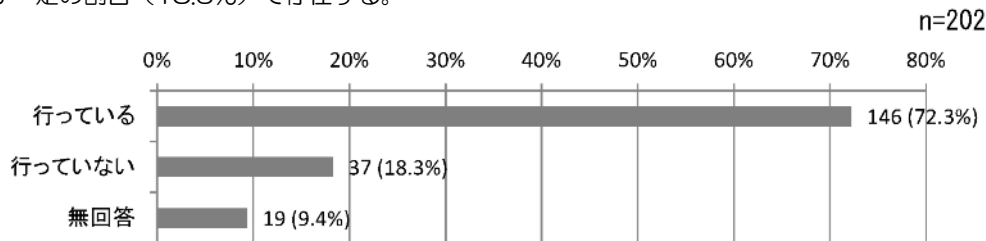
軒下にてきたハチの巣



隣家に迫る雑草

空家所有者による管理の状況

良好な住環境の保全には、空家の所有者による適切な維持管理が求められるが、「遠方に住んでいる」「高齢のため」等の理由から、**家屋の維持管理を定期的に行っていないとする所有者**が一定の割合（18.3%）で存在する。



※数値は空家所有者アンケート調査（H31.3）

川崎市空家等対策計画

● 目的

本市において、総合的かつ計画的な空家等対策を推進するために、平成29年3月に制定

● 基本方針と具体的取組

I 予防的取組の推進

…**市民への意識啓発**、住宅の良質化、市場流通の促進など**予防的取組を推進**

II まちづくりに資する空家利活用の推進

…地域特性を踏まえた地域課題の解決・地域価値の向上を目指し、他の施策との連携による、**まちづくりに資する利活用の推進**

III 良好な住環境の保全

…特定空家に至らないよう所有者等への働きかけを行い、法に基づく必要な措置を講じ、良好な住環境の保全を図る。

IV 多様な主体との協働・連携

…効果的かつ効率的な課題解決を目指し、地域住民、民間事業者など、多様な主体との協働・連携を図る。

車座集会のねらい



車座集会のねらい



ねらい① 発生抑制

ねらい② 利活用

【意見交換のイメージ】

- 空家が生じる前段階での「備え」
- 空家情報を地域で共有する仕組み
- 「場」を必要とする者と空家所有者とマッチング
- 空家を「場」として活用するアイデア

など